



写真: コミネカエデ (撮影: 平成21年10月27日)

「コミネカエデ」

コミネカエデは、えびの高原周辺でひととき鮮やかに紅葉しています。

えびの高原は、紅葉の季節を迎えています。紅葉は、夏に青々と茂っていた木々が冬に備えて葉を落とす過程で見られる現象です。

標高1200mのえびの高原周辺には、ミズナラやシロモジなどの落葉樹が多く、紅葉を楽しむことができます。池巡り自然探勝路の六観音御池は紅葉の名所で、例年10月下旬から11月上旬に紅葉のピークを迎えます。

霧島山の紅葉の主役は、カエデ科の木々です。中でもひととき鮮やかに紅葉するのがコミネカエデです。葉は5つに分かれ、中央の3つの裂片はすっと伸びています。コハウチワカエデの葉は5〜11つに分かれ、うちわのような形をしています。

イロハモミジの葉は7つに分かれるものが多く、「いろはにほへ」との7文字になぞらえて名が付けられています。

他にも霧島山ではウリハダカエデやイタヤカエデなどいろいろなカエデを見ることができます。
(文/えびのエコミュージアムセンター)

コミネカエデ
Acer micranthum

カエデ科カエデ属